

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2014年(公財)日本陸上競技連盟規則並びに本大会要項による。
2. ナンバーカードは、中学校の競技者は中体連、高等学校の競技者は高体連がそれぞれ指定したものを、それ以外の競技者は大会本部が用意したものを胸と背に、トラック競技に出場する者は腰に腰ナンバー標識をそれぞれ着用のこと。なお、跳躍競技に出場する者は、胸部または背部いずれか一方でよい。
3. 本大会は、着順判定を迅速的確に処理するために写真判定装置を使用するので、腰ナンバー標識は写真判定装置で容易に確認できるよう右腰のやや後ろに位置するように着けること。
4. 競技者招集所は、100mスタート地点後方の第4ゲート付近に設ける。

招集時間は、次のとおりとする。

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">●トラック競技 競技開始25分前から開始し、15分前に完了する。●フィールド競技 競技開始50分前から開始し、40分前に完了する。 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

5. 招集は、必ず競技者本人とする。ただし、招集時に他の競技に出場中の者に限り代理人を認める。
6. 招集時刻に遅れた競技者は、その競技に出場できないことがある。
7. 走路順及び試技順は、プログラム記載のとおりとする。ただし、トラック競技の決勝種目は、大会総務が抽選により走路順を決定する。
8. 小学4年男女100m、小学女4×100mR、中学男1500m、中学女800m、A男1500mは予選を行わず、タイムレース決勝とする。
9. 不正スタートについては、従来通りのルールを適用する。
10. A男5000mは、スタート後20分が経過した時点でレースを打ち切る。
11. 本競技場は全天候舗装であるので、スパイクシューズを使用する場合、スパイクは11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投の場合は12mm以内とする。
12. リレーのオーダーは、プログラムに備え付けのリレーオーダー用紙に記入し、予選・決勝とも招集完了時刻の1時間前までに招集所に1部提出すること。
13. 走高跳のバーの高さ及び上げ方は、当日審判長が決定する。
14. 投てき競技の用具は、各自が持参したものを使用してもよい。ただし、招集前に大会本部で検査を受けること。
15. 投てき競技の練習は、競技開始予定時刻の30分前から審判員が指定した場所で行う。
16. スパイクシューズを履いたまま建物の中(ホール・階段・廊下等)に絶対に入らないこと。
17. 競技中に発生した障害・疾病については主催者(医務係)において応急処置はするが、その後の責任は負わないので、競技に出場する際は十分注意すること。